

地震災害 危機管理で研修会

マニュアル作成のポイントを講演

学校リスクマネジメント推進機構

学校リスクマネジメント推進機構（東京都千代田区）は昨年十二月十九日、東京・市ヶ谷の私学会館で「地震災害 危機管理マニュアル 作成研修会」を講義と、他校との情報交換会を開いた。全私学新聞運営委員会が後援。

高橋幸基氏（元航空自衛隊 救難部隊指揮官）が危機管理マニュアル作成のポイントについて講演した。高橋氏は地震災害対応の三要素として、「予防（事前の業務）」「対応（応急対応業務）」「復旧・復興（事後の業務）」を挙げた上で、予防のポイント、予防対策例等について具体的に述べ



情報交換会も行われた研修会

た。マニュアル作成のポイントについては、対策本部組織、初動対応の行動基準、対策本部の対応基準等について述べた上で、応急計画の主要項目として、①教職員・児童・生徒・学生の被害状況の把握②施設・設備等の確保③教育再開の決定・連絡④教育環境の整備⑤給食業務の再開——を挙げた。

また、情報交換会では、「関東と関西では危機管理の意識について、

差がある」「三・一一に

ついて話し合った。備蓄については、教員とトップと考え方に差がある」「備蓄については予算が取れないところがある」「生徒にもマニュアルを配布した」「児童・生徒の帰し方が問題に

なった。学校での津波の訓練が参考になった」など多くの意見が出された。